

北部九州国際物流戦略に関する提言

～ 『東アジアの北部九州』を目指して～

《提言にあたって》

近年、世界の生産拠点あるいは消費市場として急成長を遂げている中国を始めとする東アジアのめざましい経済成長等により、経済・社会活動のグローバル化が一層進展している。

我が国と東アジアとの相互依存関係は、経済交流の拡大等により、ますます深まっていることから、アジア域内物流が準国内輸送化する中で、スピーディでシームレスかつ低コストな国際・国内一体となった物流の実現が求められている。

自動車・IT産業をはじめとする産業集積が進む北部九州において、多様な国際・国内輸送モードの存在・アジアに近い地理的優位性といった北部九州のポテンシャルが高まりつつある。

よって『東アジアの北部九州』として、我が国の国際競争力の強化のために、国際物流の機能強化と効率化を目的として、当チームを母体とした産学官関係者が一致団結して実現を目指すため、提言をとりまとめるものである。

北部九州国際物流戦略チーム

【北部九州における国際物流機能強化に向けた取組みへの提言】

我が国の国民生活の向上ならびに九州の経済発展のため、北部九州における国際物流機能強化の必要性(解説1)に基づき、本戦略チームにおいて、産学官が一体となって取り組むべき目標(解説2)を掲げた。この目標においては、多岐にわたる調整を必要とするものや、実現に長期間を要する課題も含まれている。しかしながら、近年の急速な社会情勢の変化や「東アジアの北部九州」としての役割を勘案し、特に北部九州に関連が強く、早期に強化が必要な、以下の6項目について具体的な取組みを示し、重点的に実現を目指す。

国際RORO機能の強化

取組み:トレーラー等による輸出入のシームレス化実現

特定区域までのトレーラー等の相互通行及び車上通関の簡素化の検討

効果 荷役作業の時間・費用の削減、倉庫内天井クレーン荷役による多様な貨物の取扱い等

外貿コンテナ機能の強化

取組み:12フィート,45フィート等多様なコンテナサービス向上の実現

45フィートコンテナ取扱いの検討

効果 45フィートコンテナの取扱いによる軽量大容積貨物の輸送コスト削減、12フィートコンテナの取扱いによる多方面・小ロット輸送の効率化等

ロジスティクス・ハブ機能の強化

取組み:内陸部から臨海部のロジスティクス・ハブへと貨物の集約による輸送コスト、事務手続き等の低減の実現

共同デポ、各種インセンティブ検討、物流総合効率化法の活用、輸出入関係者間協議実施

効果 輸送モード間の接続効率化、グローバルな生産体制の支援、流通加工等による価値の付加等

国内輸送網との結節機能の強化

取組み:鉄道輸送、内航フィーダーとの結節機能強化等による輸送コスト・環境負荷低減の実現

港湾引込線・鉄道貨物の利用促進策検討、内航船舶代替建造推進アクションプランの実行

効果 荷役作業の時間・費用の削減、フィーダー網の充実によるコスト低減等

国際航空路線拡充等による多様な輸送手段の強化

取組み:国際航空路線拡充の実現

国際航空貨物定期路線の誘致

効果 リードタイム短縮、他空港への横持ち運送費用の削減、貨物輸送能力の増大による輸送費用削減等

国際物流基幹ネットワークの推進の強化

取組み:国際標準コンテナや企業のサプライチェーンに対応した道路整備による荷主から北部九州港湾・空港への円滑な国内輸送の実現

国際標準コンテナ車の通行におけるボトルネック解消

効果 国際標準コンテナ使用による運送費用の削減、安全・安定・迅速な道路輸送の実現、物流関連車両の運行ルート統一による交通環境改善等

[解説1] 北部九州における国際物流機能強化の必要性

(1) 我が国を取り巻く環境の変化

我が国の経済は、海外経済と常に密接な関係をもって発展している。特に、アジア諸国にみられるように、直接投資を通じた我が国との新たな生産関係の構築、日々の生活において実感する輸入品の増加など大きな変化を生じている。

これは、日本企業の海外事業展開を通じて、我が国の輸出入品の高付加価値化において、アジア地域に国際水平分業が形成されてきたことにより、グローバル化が一層進展したことが大きな要因である。それら背景の中で、アジア地域は「世界の成長センター」になり、我が国の企業が構築した国際水平分業のネットワークが、アジア諸国の産業・経済の発展の基盤となっている。

(2) 北部九州の優位性

北部九州は、東アジアとは近接した時間・距離の関係にあり、歴史的にも人流・物流等の結びつきが強い。また、昨今の中国の著しい経済成長のなかで、九州と中国の経済の依存関係が強まっている。

このような背景のなか、今後、中国を中心とする東アジアの国際物流は飛躍的に増加すると見込まれており、北部九州はその拠点としてますます重要な位置を占めることとなる。

一方、東アジアとの時間・距離の近接性から、定時性に優れ、高い就航率を誇る国際フェリー、航空輸送並みのスピードかつ安価な国際RORO船など、北部九州の地理的な優位性を活かした物流ネットワークが充実しつつある。さらに、北部九州は、港湾、空港、鉄道貨物駅、高速道路IC等物流の核となる拠点が近接するなど、荷主の多様な輸送ニーズに対応できるとともに、東アジアから日本全国への物流をスピーディかつ低コストで実現するサービスの提供が可能な地域である。

このように、北部九州は、東アジアと日本との間の物流機能をシームレスに結びつけ、かつ多様な輸送モードによるネットワークを形成することが可能な優位性を持った地域である。

(3) 北部九州に求められる役割

グローバル経済の進展に伴い、北部九州においても、世界に通用する価値を生み出していくことが求められている。北部九州の産業集積が持つ強みをもって国内外の市場を開拓し、また海外の技術や産業と連携させることで新たな成長の可能性を追求していくなど、北部九州産業の国際展開を押し進めることにより、国際競争力のある産業を北部九州に立地させることが可能となる。

今後、「日本の中の北部九州」だけではなく、「東アジアの北部九州」としての観点から、北部九州を核とする国際生産・物流ネットワークの構築が求められる。

特に、国内産業の国際競争力強化のためには、調達・生産・販売といった一連のサプライチェーンを支える物流機能の強化が必要であり、国内外の高度な原材料・部品をはじめとする高付加価値品を的確に調達・配送し続ける、より効率的・高度な物流機能を実現すべきである。

(4) 北部九州の港湾・空港の国際競争力強化の必要性

北部九州に求められる役割を果たすため、優位性を活かし、スピーディでシームレスかつ低コストな物流ネットワークの構築及び荷主のニーズを満たす効率的な物流システムの実現が必須である。そのためには、大水深コンテナターミナルを中心とした物流拠点の更なる整備促進・効率化を図りつつ、輸出入手続きの迅速化をはじめとするリードタイムの短縮を図ることが必要である。

さらに、近年、急速な発展を遂げている東アジアとの円滑かつ効率的な物流ネットワークの構築が必須である。そのためには、国際フェリー・RORO船等によるチャトルサービスの活用が必要である。

また、半導体・電子部品等といった高付加価値製品の国際市況変動のスピードに対応可能な航空輸送、環境負荷を軽減し地球温暖化対策に寄与する鉄道輸送、国際規格のコンテナを搭載したトレーラーが円滑に輸送できる陸上輸送など、多種多様な荷主ニーズに対応した多様な輸送モード間のシームレスなネットワークの構築が必要である。

[解説2] 北部九州における国際物流機能強化のための目標

北部九州における国際物流機能を強化するにあたって、北部九州をはじめ九州地域における産業の国際競争力の維持・強化を図り、豊かな生活を実現し、活力ある九州を築いていくためには、東アジアとの円滑な物流機能の構築が必要不可欠である。

円滑な物流の実現には、個々の港湾・空港のみならず、物流ネットワークを一体的にとらえて効率化を図る必要がある。そのためには、北部九州における総合的な物流体系のあるべき姿を明確にし、産学官が一体となって取り組む必要があるため、以下の目標を掲げる。

(1) 北部九州の港湾・空港の国際競争力の強化

国際コンテナターミナルのさらなる機能強化

船舶大型化への対応、港湾ロジスティクス・ハブの形成、北米・欧州航路の誘致、コンテナヤードの拡充、港湾利用料金等各種料金の低減、ターミナル運営の効率化

連携体制の確立強化

協働ポートセールス、コンテナ物流情報システムの共通化、輸出入関係者間協議活性化

リードタイム短縮への対応強化

輸出入・港湾諸手続の迅速化、多様な輸送モードに対応した人材の育成、輸出入貨物取扱い時間拡大

多様なサービスへの対応強化

12ft・45ftコンテナ利活用、ドア・ツー・ドアサービス発展、小口貨物の集約

(2) 北部九州と東アジアを結ぶシームレス物流ネットワークの形成強化

地理的優位性を活かした物流機能強化

トレーラー等の相互通行実現、「東アジア経済交流推進機構」活用、国際フェリー・RORO 船及びシャトルコンテナ船の拡充

国際航空貨物の対応強化

国際航空貨物路線の拡充、航空貨物関連施設整備の充実

国内外ネットワークの構築強化

アクセス道路の重さ・高さ指定拡充、内航フィーダー網充実、シー・アンド・レールやシー・アンド・シー等の促進に向けた輸送モード間の結節機能強化

北部九州国際物流戦略チーム委員

有識者

九州大学大学院工学研究院教授

北九州市立大学大学院教授

立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋マネジメント学部教授

福岡大学商学部教授

九州大学大学院工学研究院助教授

西南学院大学商学部助教授

西日本新聞社編集局次長

アジアネット代表

善 功企

井原 健雄

汪 正仁

陶 怡敏

外井 哲志

飴野 仁子

中川 茂

田中 豊

経済界

(社)九州経済連合会常務理事

九州商工会議所連合会常任幹事

(社)福岡県トラック協会会長

九州地方港運協会会長

航空貨物運送協会九州国際地方部会長

九州地方通運業連盟会長

福岡県倉庫協会会長

福岡県冷蔵倉庫協会会長

(社)北九州港振興協会会長

(社)博多港振興協会会長

下関港湾協会会長

博多港ふ頭(株)代表取締役専務

ひびきコンテナターミナル(株)代表取締役社長

関門コンテナターミナル(株)代表取締役社長

日本貨物鉄道(株)九州支社長

上海スーパーエクスプレス(株)代表取締役社長

カメラライン(株)代表取締役社長

オリエントフェリー(株)代表取締役社長

山九(株)理事

(株)ジェネック取締役

地方自治体

福岡県企画振興部長

福岡市土木局長

福岡市経済振興局理事

北九州市港湾空港局長

福岡県土木部長

福岡市港湾局長

北九州市建設局長

下関市港湾局長

国機関

九州農政局生産経営流通部長

第七管区海上保安本部交通部長

動物検疫所門司支所長

日本政策投資銀行九州支店長

大阪航空局福岡空港事務所広域空港管理官

九州運輸局交通環境部長

九州地方整備局港湾空港部長

門司税関総務部長

門司植物防疫所長

福岡検疫所長

九州経済産業局産業部長

九州運輸局企画観光部長

九州地方整備局道路部長